

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・「芯の通った学校組織」定着状況等調査(H28.8)において、「リーダーシップを発揮しやすくなった」と回答した校長と「学校運営への参画意識が高まった」と回答した主幹教諭等の割合が6割を超えるなど、目標達成に向けた組織的な取り組みが進んだ。 ・学校・家庭・地域の連携が進んでおり、地域とともにある学校づくりにつながっている。 ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの事例検討会を開き、情報交換の場を設けたことにより、教育相談の更なる質の向上が図られた。 ・有識者等で構成される大分県立高等学校第三者評価を実施したことにより、学校改革の推進が図られた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・「芯の通った学校組織」定着状況等調査(H28.8)において、学校の重点目標を達成するために家庭や地域が行う取り組みを設定する学校が7割を超えるなど、学校・家庭・地域の協働が進んだ。 ・地域人材を活用した放課後等の活動に11,814人の児童・生徒が参加した。(H27年度比+585人) ・中学校の運動部活動で、587人の地域人材を活用した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における組織マネジメントやカリキュラムマネジメントなどの実践的な研修を充実したことにより、特に管理職が学校マネジメントについての理解を深め、管理職としての自覚や資質能力の向上が図られた。 ・H28年度から人事評価研修の対象に校長と新たに教頭等を加えたことにより、教職員評価システムについてより多くの管理職が理解を深めることができた。その結果、管理職による面談や授業観察等における指導・助言がより適切に行われるようになり、学校組織の活性化が図られた。 ・定期健康診断で「要観察」以上の判定を受けた教職員に対して、生活習慣改善の必要性を認識させ、その実行を促すため、保健師及び産業医面接を行うとともに、血液サラサラセミナーを開催した。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高校が地元で信頼され選ばれる学校となるよう、外部講師の活用などの学力向上に資する取り組みに加え、地域住民等との連携による魅力・特色ある学校づくりにつながる取り組みを行ったことにより、H29年度高校入試においては、欠員がある高校数が14校から12校に減少した。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・県内私立学校に対し研修やアドバイスを行うコーディネーターの配置など進路指導の充実支援に取り組んだ結果、H27年度の私立高校生の就職内定率は97.9%と、公立との差を0.8ポイントと差を縮め高水準を維持できた。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	いじめ・不登校等未然防止対策事業	172,967	A	継続・見直し	218
	いじめ・不登校等解決支援事業	144,939	A	継続・見直し	219
②	放課後・土曜学習支援事業	56,679	A	終了	223
③	「芯の通った学校組織」定着推進事業	10,603	A	終了	221
④	地域の高校活性化支援事業	29,071	A	継続・見直し	222
⑤	私立学校運営費補助	3,284,424	A	継続・見直し	99
	私立幼稚園運営費補助	985,569	A	継続・見直し	74

【VI. 施策に対する意見・提言】

○県立学校総括安全衛生委員会(H29.2)

- ・要精密判定を受けた県立学校教職員からの受診報告が遅い。受診していない可能性もあるため、受診結果報告書を早めに提出するよう管理職等から対象者に指導してほしい。
- ・ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善の取り組みを推進できるよう、まずは管理職の意識の醸成が必要。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none">・『『芯の通った学校組織』推進プラン 第2ステージ～大分県版『チーム学校』実現プラン』～に沿って「芯の通った学校組織」の取り組みを深化し、教育水準の更なる向上を図る。・目標協働達成の取り組み及びコミュニティ・スクールの推進により、家庭・地域と連携した学校づくりを引き続き推進する。・企業・大学・団体等との連携強化により放課後等の活動プログラムを充実するとともに、大学生や地元高校生等の活用により中学生に対する補充学習を充実する。・生徒の多様なニーズに対応できるよう、地域スポーツ指導者の発掘及び活用を促進する。・管理職研修やミドルリーダー研修での「OJTの手引き」の活用、ステップアップ研修と中堅教諭等資質向上研修の一部合同実施による相互交流など、OJT推進に向けた支援を行うことで人材育成を推進する。・教員育成協議会において大学等と連携し、教員の養成・採用・研修を通じた資質能力の向上を図る。・教職員評価システムの効果的運用による人材育成と教職員の意識改革を図る。・定期健康診断で有所見率の高い項目は血清脂質、肥満、血圧であり、教職員が個々の生活習慣を改善していくための指導を引き続き行う。・メンタル不調者の早期発見・早期対応のため、ストレスチェックの徹底や管理監督者等への研修などを通じて、セルフケア、ラインケアの充実を図る。・地域の学校が地域に信頼され、選ばれる学校となるよう、地域と連携した魅力・特色ある学校づくりを引き続き推進する。